この本の使いかた

この本は、中央区の古代から現在の歴史と文化をわかりやすく解説しています。日本の歴史といっしょに説明しているので、時代の流れをつかむことができます。ほかにも中央区の情報をたくさんもりこんであります。

表記について

- 漢字は一部をのぞき、小学校で習う漢字をつかい、すべてふりがなをつけました。
- 単位は、記号をつかっています（m、g、%など）。
- 地名などは、当時つかわれていた漢字で表記しています（例・大坂）。
- 動物や植物名は、基本的にカタカナ表記にしています。

中央区のなりたち

見開き2ページで1つのテーマを解説。

【つめ】
時代ごとに色分けをしています。

【リード解説】
そのページで解説する内容をわかりやすくまとめています。

【人物コラム】
そのページの内容に関連する人物を紹介しています。

82 ⑦隧道元会社は、創立から3年後の1875（明治8）年に内国通運会社と社名を改めた。通運丸は内国通運会社の蒸気船。

83 ⑦新聞の役割を重要視していた前島密は、新聞などを低料金で配送する制度をつくり、新聞を広めるのに一役買った。

【欄外情報】
そのページで紹介している内容に関連した豆情報です。

【関連ページ】
ほかのページに関連する内容がある場合は、矢印でそのページを示しています。

図解 しくみ・なぞを探ろう

イラストを大きくつかい、もののしくみや構造、なりたちが見ただけでわかるようにしました。

地域の特色と文化

現在と江戸時代の地図を続きページでのせて、今と昔の町なみのようすがわかるようにしました。江戸時代の町なみは、イラストをつけて当時の雰囲気を表しました。

現在の地図には、以下の基準で印をつけました。

- 印は、おもだった建物、区役所、公園、消防署、警察署。
- 印は、区立小学校・中学校。
- ●印は、見どころ。
- ・印は、この本で紹介している店や建物など。
- ☆印は、重要文化財。

※エリア分けは、『中央区 歴史・観光まち歩きガイドブック』をもとにしました。

【情報コラム】
そのページに関するさまざまな話題や情報を紹介しています。

【写真・図版】
中央区が所蔵している貴重な図版・写真を多くつかっています。そのほかにもなかなか見ることができない写真・図版をのせています。

【勉強コラム】
歴史的事実として知っておきたいことがらなどを解説しています。

江戸時代の地図は、『御江戸大絵図』（1843・天保14年）を使用しています。当時あった町名の由来などを解説し、場所がわかるように地図上に番号や町名などをつけました。